



# Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 97名  
(正会員 96名 名誉会員 1名)

### 今週のお祝い

本人誕生祝：1日 宮永誠治君 3日 池口由紀彦君 6日 今出 上君 尾沢三夫君 9日 松本(啓)君 11日 種田 進君 14日 種田 進君 14日 永島清孝君 西村正男君 27日 小土井秀明君

### 会長挨拶

東日本大震災から4年目を迎えました。震災後2万人以上の方が亡くなっています。まだまだ災害復旧には時間がかかると言われています。サテライトコミュニケーションネットワークでは火災・地震・市役所の案内また天気・花粉などこの地域の情報を集め、中海テレビに送っています。震災時仙台のケーブルテレビが被害を受け米子から放送することに決定しました。仙台の市役所等様々な情報を仙台から来たものを瞬時にテレビ画面と携帯に流す作業を行いました。2か月半24時間体制でそれに対応しました。仙台の皆様にご感謝いただきました。

ロータリーにおいても南海トラフの際には地震が来るということで徳島阿南南ロータリークラブでは災害委員会をつくり、学校や地域の人々に災害時における役割を話し合い、啓蒙していこうと運動しています。我々もこの地域にいつ何が起きるかわかりません。災害時に備えることを会社、家族など多方面にわたって備えをしていかなければなりません。

### 幹事報告

- 3/7~8 PETS 野坂会長エレクト出席 (岡山全日空ホテル 他)
  - ガバナーと語ろう会 出席お礼状
  - 4/25 第2回インターアクト地区委員会のご案内 (サン・ピーチOKAYAMA)
  - 4/25~26 インターアクト地区協議会のご案内 ( ) 岡山西南RCホスト
  - 4/25 第2グループ親睦麻雀大会のご案内 (マージャンV)
  - 3/3 米子松蔭高等学校 卒業証書授与式お礼状
  - 中海再生プロジェクトNEWS3月号
  - 例会変更のお知らせ  
米子南RC 3/30(月)夜間例会 ビジター受付あり  
鳥取中央 " " " "
- 境港・倉吉 3/31(火)休会 (定款第6条)  
ビジター受付なし

### 次回プログラム

- 3/18 「里親制度について」  
社会福祉法人 鳥取こども学園  
里親支援とっとり  
里親委託等推進員 吉田信彦 氏
- 3/25 「私の職業」 陶山正明 会員  
「 " 」 松本誠二 会員

### 今後の行事予定

- 3/21~22 親睦交流旅行 (岡山 倉敷・備前)
- 4/19 地区研修・協議会  
(岡山コンベンションセンター他)
- 4/26 第1・2グループ合同IM  
(倉吉シティホテル)
- 4/29・5/6 休会(法定休日)



Light up Rotary  
ロータリーに輝きを

## <プログラム>

### 「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会リーダー 西村正男 会員

- ・横書き3ページ  
RI会長メッセージ ロータリー国際大会サンパウロ大会の案内
- ・横書き48ページ  
ロータリー財団管理委員長 新しい補助金モデルの導入  
// エバンストン便り 今後の国際大会の予定
- ・横書き7ページ  
識字率向上月刊「子どもが教室で学べるように」
- ・縦書き13ページ  
被災地支援と社会奉仕 仙台北RC



### 「年男放談」 澤 耕司 会員

昭和30年12月24日大阪で生まれ、小中高を大阪で過ごしました。日本交通は創業は大正15年に大阪で澤タクシーとして事業を起したのが始まりです。戦争ですべて失いましたが、鳥取県知事のすすめでタクシーをはじめました。その後バスに進出しました。今年で67年目を迎えます。父は平成7年7月11日亡くなりました。震災が1月17日で震災と縁があると感じました。私は末っ子だったので北海道大に進学し獣医になり、4年間獣医師をしていました。その後鳥大大学院に来て保険所等で勤めました。当時食肉は食べれて当たり前の時代でしたが今はトレーサビリティ、狂牛病、口蹄疫等大きな変化と思っています。

和歌山に10年、鳥取に来て15年になりました。鳥取の本社にいましたが、5年前から米子に本拠をおいています。鳥取の本社には優秀な人材がそろいますが、米子営業所は大阪はもちろん広島や松江、境港好立地なのでここでの事業が大切だと考えています。また定年を迎える社員も多く、約300名いる社員をなんとかしていかなければと思っています。

和歌山時代には娘が3人おり長女は鳥大医学部で看護師を、次女は医学科を卒業し神戸で小児科医を、三女は薬学部へ通っています。次女がブラスバンド部でしたので甲子園球場へ何度も送りましたので甲子園が身近なものになりました。年頃になりましたので何人かは会社を継いでくれることを期待しています。会社の方は現在課長がいない20~30代の非常に若い会社になりましたがもっと経営感覚を持ってもらいたい。彼らには自分自身が日本交通の社員であって会社を通じて成長できるような仕組みを作りたい。最近米子広島便に力を入れてますので皆さん広島へ行かれる時はぜひご利用下さい。

